

平成16年度 日本赤十字社臨床検査技師会 総 会 議 事 録 (要旨)

場 所：日本赤十字社 本社 201会議室

日 時：平成16年7月8日(木)・9日(金)

参加者：107名、委任状 1384名、合計 1491名(会員数 1698名)

総司会：引地 睦悦 副会長(名二)

総 会 次 第

一、開会の言葉

一、会 長 挨拶 深田 靖彦 会長

第40回赤臨技にご出席いただきましてありがとうございます。
長年当会を主催されました幹事の皆様のご努力で、ここまで来られましたことに対しまして改めて敬意を表します。また、皆様方には当会の運営・諸事業に対しまして、ご支援・ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

本日は平成15年度の事業の総括、決算報告それから平成16年度の事業計画・予算案を提示いたしました。慎重なご審議をいただき、平成16年度の事業が円滑に遂行できる体制で望みたいと思いますので、ご協力お願いします。

一、来 賓 挨拶 本社医療事業部長

一、議 長 選 出 議長：市川 真一(広島原爆) 書記：福島 わか子(医療セ)

一、議 長 挨拶

一、資 格 審 査 会員数の2分の1以上で成立

一、議 案 審 議

1. 第1号議案 平成15年度事業経過報告
2. 第2号議案 平成15年度会計報告
3. 第3号議案 会計監査報告
4. 第4号議案 平成16年度事業計画案
5. 第5号議案 平成16年度会計予算案
6. 第6号議案 日赤技師会会則の改正
7. 第7号議案 平成16年、17年度の役員改正
8. 第8号議案

一、議長解任

一、平成16年度表彰式

一、閉会の辞

【第1号議案 平成15年度事業経過報告】

平成15年 4月 1日	臨床支援に関するアンケート調査の発送(事務局)
平成15年 4月25日	日本赤十字社臨床衛生検査技師会常務幹事会 本社
平成15年 5月13日	原繁一(深谷赤十字病院検査部技師長)本社医療安全対策委員会インシデント・ アクシデント対策専門部会の委員に
平成15年 6月6日	日本赤十字社臨床衛生検査技師会全国幹事会(本社)
平成15年 7月17日18日	平成15年度日本赤十字社臨床衛生検査技師業務研修会の開催
平成15年 7月18日	第39回日本赤十字社臨床衛生検査技師会総会の開催
平成15年 9月	日赤検査第37巻1号の発刊 日赤医学検査学会の抄録集
平成15年 9月	表彰会員への表彰状および記念品の郵送(事務局)
平成15年 9月13日14日	日赤医学検査学会の開催 九州ブロック担当 日本赤十字社長崎原爆病院 学会長：副島 武 実行委員長：伊東正二
平成15年10月10日	日本赤十字社臨床衛生検査技師会常務幹事会(本社)
平成15年10月11日	検査統計のフロッピーを郵送(検査統計のワーキンググループ)
平成16年 1月15日	日赤検査第37巻2号の発刊
平成16年 2月20日	日本赤十字社臨床衛生検査技師会常務幹事会(本社)
平成16年 4月23日	日本赤十字社臨床衛生検査技師会常務幹事会(日本ロシュ会議室)
平成16年 4月	検査部のリスクマネジメント実態調査の発送

これまでの経過報告

- ① 平成14年2月に開催された全国技師長・責任者会議において、全国議題提供として「検査件数統計ソフトについて」が提言され討議された。常務幹事会で4人の常務幹事によるワーキンググループをつくり、小林幸子幹事(委員長：長岡日赤)のもと検査統計統一による実施方法、時期等について検討した。実施方法として件数として計上するのは、診療報酬点数表の区分で掲載されている項目とし、今回は院内検査を対象とし外注検査は外すことにした。平成14年6月にワーキンググループの4施設でシュミレーションを行い、平成15年10月10日各施設に11月分の検査件数を調査すべく、FD(Windows, Excel)を送付した。82施設より回収されたデータを各区分別に横に貼り付け、各施設で参考にできるよう全施設にFDで渡す予定です。今後の課題についてはワーキンググループ、幹事会において検討を続ける。
- ② 全国幹事会1回、常務幹事会は3回実施した。
- ③ 技師会ホームページ開設の経過報告
平成15年6月6日 全国幹事会にて会のホームページ開設の議題提案があった。業者提案は高額なため、会員からホームページ作成を募ることになり、深谷日赤の片山一重技師のホームページ概要のデモ版が紹介された。
平成15年7月18日 第39回全国日赤技師会総会で技師会のホームページ開設に関する議決が承認された。ホームページ作成に関しては、深谷日赤の片山一重技師に依頼することも合わせて

承認された。ホームページ開設場所は技師会事務局が予定された。

平成15年10月10日 常務幹事会にて、ホームページ開設場所が現在の技師会事務局では困難なことから、原繁一常務幹事に開設を依頼することを承認した。なお、パソコンおよびパソコン設置費等の諸費用は、会が負担することを決定した。

平成16年2月20日 常務幹事会にて、片山技師のホームページデモ版が紹介され、内容の検討が行われた。今後のホームページ作成のため、ホームページ専門委員会の設置が提案され、承認された。

- ④ 平成16年度の研修会は7月8日(木)、9日(金)に開催される。本社会議室を使用する。
- ⑤ 検査業務実態調査は、今回検査部のMRMに関する事項を村田、村上常務幹事が中心となり実施した。調査結果は7月8日の研修会で報告する。

地区ブロック活動報告

1. 北海道ブロック活動報告

平成15年9月6日～7日 第32回北海道ブロック会研修会(伊達)

指定講演：「血液新法と医療機関との関わり」深井寛治(道赤十字血液センター医療情報課長)

特別講演：「北海道に暮らしていた縄文の人々の生活」大島直行(伊達市教育委員会文化財課長)

平成15年度定期運営委員会 出席者数：31名

会員発表：

- ①NK細胞性腫瘍2例の比較検討：橋本 広昭(旭川)
- ②検診者尿沈査物で病理解剖学的診断がついた尿路系腫瘍の一例：曲師 妃春(旭川)
- ③食中毒によるSRSV検出の結果が異なった一例：青木 貴範(浦河)
- ④心臓超音波にて心室瘤内モヤモヤエコーを記録できた急性心筋症の一例
- ⑤脳死判定における脳波測定：佐藤真奈美(北見)
- ⑥IgD型形質性白血病の一例：小林 淳(北見)

平成16年3月19～20日 全道技師長(課長)会議

特別講演：

「改正薬事法と品質保証システムについて」：アポットジャパン(株)学術部

医療機能評価受審のポイント：高橋春秋(旭川)平成16年度診療報酬改訂について

佐々木充孝(釧路)

第15回日赤検査医学会開催について

平成16年度赤臨技道ブロック会研修会について 担当：北見日赤 赤臨技連絡事項

平成16年度の事業計画：第33回北海道ブロック会研修会、平成16年度定期運営委員会(北見担当)

平成17年2月 技師長(課長)会議 場所日本赤十字社北海道支部(札幌市)

2. 東北ブロック活動報告

第17回東北ブロック技師長(代表者)会議 日時：平成15年6月21日(土) 会場：秋田温泉「さとみ」

議 題：

- ①東北ブロック各種連絡事項について
- ②オーダリングシステム導入後の現状について
- ③電子カルテ導入について
- ④臨床支援(採血業務、健診業務)の取り組みについて
- ⑤今後の技師会運営について
- ⑥その他

第32回東北赤十字臨床検査技師会研修会

日時：平成15年6月21日(土)～22日(日) 会場：秋田温泉「さとみ」

総会 教育講演：肺癌の分子標的治療 黒川博一(秋田日赤 呼吸器科部長)

講演：電子カルテと検査部の対応 森脇博信(SRL地域医療IT推進部長)

教育講演：大腸腫瘍性病変に対する内視鏡診断 山野泰穂(秋田日赤 第二消化器科部長)

3. 東部ブロック活動報告

平成15年10月24日～25日 第34回東部ブロック研修会

担当：大森赤十字病院 葛飾赤十字産院 参加者：71名 代表者会議

講演：

1. 敗血栓塞症の予防と治療：本宮武司(大森赤十字病院副院長)
2. 健診データの見方・考え方 職場健診を事例に：古谷亮(大森赤十字病院社会事業部部长)
3. 臨床検査を主体にした妊産婦健診の紹介：西岡光夫(葛飾)
4. 産婦人科医が見たアフガニスタン：菊地真紀子(日本赤十字医療センター産婦人科医師)
5. 当院における乳腺検査の現状；星晴彦・大内和真(大森赤十字病院検査部)

4. 中部ブロック活動報告

第30回中部ブロック赤十字病院検査技師長・責任者会議 日時：平成15年10月23日(木)24日(金)

担当病院：静岡日赤 参加者：26名

議題：

- ①輸血用血液製剤の保管簿の保管体制と輸血後感染症・副作用に関する調査体制やその対応について(金沢)
- ②チーム医療と検査技師の関わりについて(諏訪)
- ③CIM(Clinical Information Management)について(名古屋第一)
- ④インターネット及びLANの利用について(山田)
- ⑤POCTの状況と機器の管理について(豊科)
- ⑥交代勤務体制と手当てについて(名古屋第二)
- ⑦業務の配置換え(ローテーション)を行う対象者・基準・期間(何年毎)について(豊科)
- ⑧病理検査・血液検査・輸血検査に関する標本・伝票の保存期間等について(岐阜 豊科)
- ⑨SARS対策について(山田)
- ⑩ブランチャラボ・FMS・外注対策と現状について(静岡)

5. 近畿ブロック活動報告

第18回日本赤十字社臨床衛生検査技師会近畿ブロック研修会

日時：平成15年9月27日(土)～28日(日) 会場：からすま京都ホテル

担当施設：京都第二赤十字病院 参加施設：11施設 参加者：89名

研修内容

教育講演：澤田淳(京都第二赤十字病院院長)「幼児虐待の発見と対応」子供の悲痛な叫びから一子供の虐待を通じて

特別講演：木津川計(立命館大学産業社会学部教授)「優しさとしての文化」

一般講演：①源井美賀子(和歌山)：「EDTA-2K採血で提出された血液ガス測定値」について

②宮内孝(姫路)：糖尿病教室への取り組み(自己血糖測定を中心に)

③今村寛子(大津)：超音波検査が有用であった閉塞性イレウスの1症例

- ④海貝真希(柏原)：当院のインフルエンザ検出状況
- ⑤高崎匡(大津)：当院インフルエンザ検査の動向
- ⑥竹島通(大津)：血球貪食症候群所見より診断したIVLの一症例
- ⑦木田たろう(大阪)：スーダン共和国ジュバ教育病院検査室現状評価の試み
- ⑧佐野守(京都第二)：乳腺顆粒細胞腫の一症例
- ⑨上井聡子(長浜)：当院で経験したエキノコッカス症の一症例
- ⑩片岡恵美(京都第一)：エイズ拠点病院である当院で経験したHIV関連悪性リンパ腫の二例について
- ⑪小野久子(大津)：肝臓疾患の三次元モデルによる解析

近畿ブロック運営委員会 日時：平成15年9月28日(日) 会場：からすま京都ホテル

議 題：①検査統計について

- ②平成16年度第19回近畿ブロック研修会担当施設について
- ③平成17年度第20回近畿ブロック研修会担当病院について
- ④平成15年度近畿ブロック検査技師長・責任者会議日程について
- ⑤その他

第19回近畿ブロック検査部技師長・責任者会議

日時：平成16年3月13日(土) 会場：たかつガーデン(大阪府教育会館) 参加者：14名

議 題：①日赤技師会全国幹事会の報告

- ②第18回近畿ブロック研修会決算報告
- ③第19回近畿ブロック研修会の運営について

開催日：平成16年9月11日(土)、12日(日) 会場：長浜ロイヤルホテル
担当施設：長浜赤十字病院

- ④第20回近畿ブロック研修会担当施設について 大阪赤十字病院が担当
- ⑤今後の検査部の動向について
- ⑥その他

6. 中・四国ブロック活動報告

中国・四国赤十字病院技師長(責任者)会議

日時：平成15年8月30日 場所：岡山日赤 参加者：13名

議 題：①平成15年度全国幹事会報告

②平成15年度中国・四国地区業務研修会について：平成15年度は、オーダーリング・電子カルテ導入が鳥取(平成15年10月)、高知(平成16年3月)、松江(平成16年4月)広島・原爆(平成16年4月)で予定されている。また、医療機能評価受審が、平成16年1月(松江、広島、原爆)、平成16年3月(高知)、平成16年5月(鳥取)で予定されていることから、研修会を開催しても参加者の確保が困難になることが予測され、本年度の開催を延期したらどうかとの提案があり出席者一同了承し、研修会の開催を延期した。

③検査統計共通化の問題について：検査統計の共通化問題については、赤臨技本部の統計には院内実施項目の数値を報告する。中・四国ブロックでは、外注項目や測定機器ならびに測定方法等も含めた調査をしたらどうかとの意見から、資料収集する事になっていましたが、担当が電子カルテ及び機能評価受審で手付かずになっている。

④その他：その他は、各施設オーダーリングや医療機能評価受審を控えていることから、これらに関する問題について活発な意見交換が行われた。

7. 九州ブロック活動報告

第13回(平成15年度)日赤九州ブロック臨床検査技師会研修会および検査技師長、責任者連絡会議報告

第14回日本赤十字社医学検査学会

日時：平成15年9月13日(土)・14日(日) 担当：長崎原爆病院
場所：長崎厚生年金会館 4F 出島の間、他 参加者：33名
議題：各施設現状報告

1. 検査部の臨床支援との関わり
2. 病院機能評価への取り組み
3. 次期開催地について
4. その他

経営の効率化と臨床サービスについて：項目をしぼるのが第一優先、迅速検査は可能な限り取り組む。検体検査部門からDPS、クリティカルパス、NST活動などチャレンジ、経営側へ利益率の提示(反証)、データを提示しないとも言えない。ランチ化される施設はデータに乏しい? 場合によっては試薬リース(5年契約)も外注業者の対抗策ともなる。その他 平成15年度の九州ブロック院長会議でコ・メディカルの研修会、会議の開催と出席要請はブロック病院長名で広報可能(ブロック病院長の施設で文書の事前承認)ブロック病院間の連絡にはメールを主体に行いたい。未接続の施設では機会があれば設置に努力する。

【第2号議案 平成15年度会計決算書】

自・平成15年4月1日～至・平成16年3月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	3,460,683	学術費	1,757,138
会費収入(1698名)	3,396,840	会誌印刷費	1,256,850
広告収入	275,000	別冊印刷費	99,750
受取利息	163	会議費	285,804
研修会参加費(119名)	1,140,500	備品費	291,689
		事務費	57,078
		事務印刷費	4,500
		通信費	128,420
		表彰記念品費	510,000
		旅費	10,700
		雑費	143,136
		特別会計繰入金	750,000
		次年度繰越金	2,978,121
合 計	8,273,186		8,273,186

平成15年度特別会計決算書

自・平成14年4月1日～至・平成15年3月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	549,939	日赤医学検査学会助成金	0
受取利息	4		
一般会計繰入金	750,000	次年度繰越金	1,299,943
合 計	1,299,943		1,299,943

【第3号議案 会計監査報告】

監査日：平成16年4月16日 大森日赤で実施

報告者：久保信雄 高橋宏文

【第4号議案 平成16年度の事業計画案】

1. 平成16年度日本赤十字社臨床衛生検査技師業務研修会の開催
平成16年7月8日(木)、9日(金) 本社201会議室
2. 第40回日本赤十字社臨床衛生検査技師会総会の開催
平成16年7月9日(金) 本社201会議室
3. 日赤検査第38巻1号の発行
4. 検査統計の標準化事業
5. 技師会ホームページの開設
ホームページ専門委員会の設置
6. 検査業務実態調査 検査部リスクマネジメントについて
7. 組織の強化

【第5号議案 平成16年度会計予算案について】

自・平成16年4月1日～至・平成17年3月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	2,978,121	学術費	2,000,000
会費収入(1700名)	3,400,000	会誌印刷費	1,400,000
広告収入	300,000	別冊印刷費	120,000
受取利息	150	会議費	250,000
研修会参加費(120名)	600,000	備品費	400,000
		事務費	50,000
		事務印刷費	30,000
		通信費	200,000
		ホームページ運営費	50,000
		表彰記念品費	550,000
		旅費	30,000
		雑費	100,000
		予備費	400,000
		特別会計繰入金	750,000
		次年度繰越金	948,271
合 計	7,278,271		7,278,271

平成16年度特別会計予算案

自・平成16年4月1日～至・平成17年3月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
前年度繰越金	1,299,943	日赤医学検査学会助成金	1,500,000
受取利息	10		
一般会計繰入金	750,000	次年度繰越金	549,953
合 計	2,049,953		2,049,953

【第6号議案 日本赤十字社臨床衛生検査技師会会則の改正について】

日赤検査第37巻第2号の会則を参照していただき、紙面の都合上、改正のポイントだけを記載する。

- ①臨床衛生検査の衛生を削除する。
- ②常務幹事を常務理事に変更する。
- ③地区幹事を理事に変更する。
- ④会計監査役を監事に変更する。
- ⑤理事の定数14名とする。
- ⑥<第2章 会員>第4条(血液センターを除く全ての診療施設)を削除する。
- ⑦表彰規定を表彰規程と変更する。
- ⑧表彰規定<総則>第2条の一、二、三、四を(1)、(2)、(3)、(4)と変更する。
(3)の日本医学会を日本赤十字社医学会と変更する。
- ⑨表彰規程(3)の∴日赤臨床衛生検査学会=日赤医学検査学会を削除する。
- ⑩慶弔規定を慶弔規程と変更する。

【第7号議案 平成16年度と17年度の役員改正について】

平成16年度と17年度日本赤十字社臨床衛生検査技師会役員

役 職 名	役 員 名	
名 誉 顧 問	河 合 忠(国際臨床病理センター所長)	
顧 問	吉 岡 稔(元成田)	
会 長	深 田 靖 彦(松江)	
副 会 長	引 地 睦 悦(名古屋第二)	
	原 繁 一(深谷)	
	三 浦 博 良(大阪)	
事 務 局 長	原 繁 一(深谷)：兼任	
常務幹事 編 集 部	小 島 行 雄(芳賀)	
会 計 部	勝 又 潤 子(大森)	九十九 葉 子(大森)
学 術 部	大 西 一 明(足利)	村 田 松 雄(医療センター)
	中野渡 進(仙台)	村 上 康 弘(医療センター)
	友 松 哲 夫(福岡)	林 繁 樹(前橋)
	吉 内 光 夫(和歌山)	油 野 友 二(金沢)
	古宇田 初(武蔵野)	
地区ブロック幹事		
北海道ブロック	畑 中 宗 博(北見)	梶 原 生 子(函館)
東北ブロック	京 野 敬二郎(秋田)	中 村 郁 夫(福島)
東 部 ブロック	太 田 明(水戸)	杉 江 和 明(大田原)
中 部 ブロック	丸 山 寛(長野)	両 角 和 雄(諏訪)
近 畿 ブロック	岸 本 茂 己(大津)	野 田 豊 和(京都第一)
中四国ブロック	花 田 薫(広島・原爆)	萩 野 義 久(高知)
九 州 ブロック	伊 東 正 二(長崎・原爆)	瑞慶山 良 助(沖縄)
会計監査役	久 保 信 雄(横浜)	高 橋 宏 文(秦野)

平成16年、17年度役員推薦委員

- 北海道ブロック：田 村 文 則(栗山)
- 東 北 ブロック：米内山 卓 人(八戸)
- 東 部 ブロック：山 崎 美喜雄(山梨)
- 中 部 ブロック：木 村 泰(岐阜)
- 近 畿 ブロック：岩 佐 修(姫路)
- 中四国ブロック：安 木 義 博(鳥取)
- 九 州 ブロック：西 伊三郎(筑前山田)